広報
さめがわ
昭和58年
4月号
No. 352
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所

村政バス郡内町村を行く……



村政の姿を村民の皆さんに直接目と耳で確めていただき、新しい施策などについてもご理解をいただく目的の村政バスが、村内各区からの申込者73名を乗せて、3台のバスで運行されました。

今年は広域行政の事業も見ることにしたので、先づ塙町にある郡内4町村のゴミ処理場や衛生処理組合の施設を見学し、村内の廃棄物が運ばれて処理されている実情を見聞しました。

国道349号線の整備状況も他町村と比べて見ることができ、村内施設も各担当課長の説明で理解を深めました。

終って山村開発センターで懇談会を開き、皆さんのナマの声を十分当局側に出していただき、これについて村長から懇切な答弁がありました。

この席に丁度顔を見せた参議院議員村田秀三先生も「大変ユニークな行事である」と賞めておられました。

4月1日～30日　河川美化月間
4月24日　鮫川村長・議会議員選挙投票日
5月11日～20日　春の全国交通安全運動

今月の人口
（4月1日現在）

		前月比
人口	5,573	(−61)
男	2,756	(−31)
女	2,817	(−30)
世帯	1,126	(− 4)

新しい区長さんら決まる

四月一日に辞令交付

四月一日付で、新しい区長・区長代理・保健委員さんが、議会の同意を得て選任されました。

辞令交付式は午前一〇時から役場二階の会議室で行われ、村長から一人一人に辞令が手渡されました。

任期は昭和六〇年三月三一日までの二年間です。

【区　長】

◇赤坂西野区　矢吹　一二（新）
◇西　山　区　水野吉三郎（新）
◇赤坂中野区　鈴木　輝男（新）
◇赤坂東野・石井草区　石井　輝二（新）
◇富　田　区　松本　栄一（再）
◇渡　瀬　区　蛭田　藤留（再）
◇青生野区　大竹　光寿（新）

【区長代理】

◇赤坂西野区　須藤　照司（新）
◇西　山　区　関根　乙夫（新）
◇赤坂中野区　高木　勝美（新）
◇赤坂東野・石井草区　前田　勝男（新）
◇富　田　区　坂本　行正（再）
◇渡　瀬　区　山形　美保（新）
◇青生野区　岡部　文雄（新）

【保健委員】

◇赤坂西野区　阿久津国市（新）
◇西　山　区　水野　啓（新）
◇赤坂中野区　須藤　泰助（新）
◇赤坂東野・石井草区　鈴木　長一（新）
◇富　田　区　鷺野谷敏男（再）
◇渡　瀬　区　小松　幸一（新）
◇青生野区　中島　唯男（新）

おめでた

二　月

田　尻　高久　栄伸　父高久利道

三　月

小名澤　渡邊　淳　父渡邊正三
前　田　前田　薫　父前田俊男

おくやみ

三　月

		年齢	世帯主
越　虫	蛭田	稔83歳	蛭田　操
浅屋敷	鈴木	イセ77歳	鈴木カツ
岩野草	坂本ハツヨ	70歳	坂本忠雄
鍬木田	須藤	シカ75歳	須藤倉吉
浅屋敷	鈴木	哲夫28歳	鈴木カツ
鍬木田	緑川	吉治56歳	緑川はつ
岡　田	舟木	ハル80歳	舟木福保
押　野	緑川	義美69歳	緑川勝美
沼野澤	水野	清一47歳	水野　学
田　中	國井	ミ子81歳	國井嘉康

おはなのうみ (48)

昭和五八年度計画事業の展望

村長　石田卯子八

昭和五八年度は三年続いた気象災害の後であり、国内経済も低迷の域を脱せず、国の行政改革の影響も深刻化することが予想される年であります。

村はこの際、地域経済の活力を振起し、住民のくらしを守り福祉を高めることを最優先すべきであるとの観点から、公共的建設事業や産業振興のための基盤整備事業を可能な限り大巾にとり入れる方針をとりました。

そのためには国、県の補助事業を多面的に、且つ効率高い事業の導入に努めなければなりません。

先ず去る三月一七日には、新年度事業の採択要請のため、村議会議員全員をあげて、二班を編成し、村長議長を班長にして県に対する強力な陳情を行いました。

その中で四年次に入る新農構事業では、塚本岩野草地区の圃場整備事業、農協が事業主体となる野菜集出荷施設、赤坂東野石井草区と渡瀬区の集落センター建設事業等を要望しましたが、ほぼ確実かと思われます。

第三期山村振興事業の大沢地区圃場整備事業も見透しは明るく、農業振興の基盤をなす団体営圃場整備事業は、西山、馬場地区の継続、大塩地区の新規が採択可能かと見られます。

村が行うべき事業を県が代行して行う代行建設事業もこれまでいくつか貰っていますが、富田地内の山村基幹農道、葉貫地区、遠ケ竜地区の農道舗装事業、及び関口戸草間の村道開設事業は継続可能と見ております。

林道は林業地域総合整備事業を県内初めて導入しており、七五%の高率補助で実施中の大戸中松倉線、酒垂宝木線、鍬木田福原線は順調に延びることが期待されます。県単林道も新規は容易でないとしても継続は確率が高いと見てよいでしょう。

その他村道網整備のための改良舗装事業は各路線について数多い要望個所を出しており、急傾斜地崩壊防止事業や治山事業も今後の努力で確保したいと思います。

県工事で行われる鮫川本流の改修事業、広域農業開発事業実施区域の畜産経営安定対策については特に重要課題でありますから、副知事まで直接話を通して要請しました。

内外情勢極めてきびしい時期で不確定要素もありますが、今後も回を重ねて計画事業の確保に努力したいと思います。

さぎり荘が村に移管

村民保養施設として 気軽にご利用を！



村運営になった「保養施設さぎり荘」

さぎり荘は、白河地方広域市町村圏整備組合の老人保養施設として設置され、皆さんに親しまれてきましたが、それぞれの市町村が老人保養施設を設置するようになったため、さぎり荘も所在地の鮫川村に移管され、四月一日から村が直接運営しております。

村では、「村民保養施設さぎり荘」として運営することが三月の定例村議会で議決されました。

利用料は、村内の方は今までと同じく一日につき、老人（六〇才以上）二〇〇円、大人三〇〇円、小人（六才以上一二才未満）二〇〇円です。村外の方は老人三〇〇円、大人四〇〇円、小人三〇〇円です。

また、村内の利用者については送迎バスの運行や、ゲートボール場の設置なども計画中です。気軽に御利用下さい。

村政バスは一日の村政教室



◀郡内のゴミはこうして処理される



上は塙町赤坂の山林にある燃えないゴミの処理場。大量のゴミが重機で押しつぶされ、覆土して処理されています。

右はし尿を処理する浄化槽です。

どの施設も耐用年数に達して、改築の必要にせまられています。



上は矢祭町にある県経済連のこんにゃく精粉工場。ここで村内の農家が栽培したこんにゃくが、精粉になって消費地に送られます。



村のトレーニングセンターを見学する一行。





事業採択について
県に強力な陳情攻勢

石田村長芳賀議長を先頭に、議会議員全員で、村の計画事業を昭和58年度補助事業に採択してくださいと、熱心な陳情を行いました。

上は畜産経営の安定対策を求める陳情団にシブイ顔の佐藤静雄農政部長。下は鮫川本流の改修工事促進の要望をきく友田昇副知事。

消防団幹部決まる
団長に松崎清次さん

村の消防団長が任期満了により、四月一日付で新しい団長に松崎清次さんが任命されました。

新団長は、関根正一前団長の後任として、消防団の推せんにより村長から団長に任命されたものです。

また副団長には松崎団長から次のとおり任命されました。

副団長　岡部　伝
副団長　須藤泰助

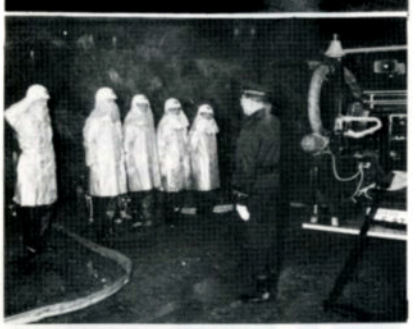
分団長は次のとおりです。

第一分団長　金沢　正男（新）
第二分団長　緑川多気志（新）
第三分団長　阿久津清次（新）
第四分団長　蛭田　康之（新）
第五分団長　中川西建治（新）
第六分団長　生田目定之助（再）
第七分団長　石塚　寛（新）

春の火災多発期を前に
林野火災防御訓練







鮫川村消防団と広域消防鮫川分署合同の林野火災防御訓練が、春の火災多発期を前に、３月13日未明富田中沢地内で実施されました。

部落のサイレンによる通報、防火水槽からの中継送水、ジェットシューター隊の活躍など何れも見事で、石田村長から良好との講評がありました。



２月28日に行われた防火パレード

山火事防止にご協力を
強調月間　4月1日～30日

毎日乾燥した日が続き、各地で大きな火災や山火事が発生しています。これから農繁期に入りますので、火災や山火事を出さないよう注意してください。

○焚火や火入れをする時は、必ず消防署の許可を受けること
○焚火をした跡は完全に消すこと
○焚火をする時は消火バケツや消火器を用意すること
○焚火や火入れは、火災警報及び強風注意報発令時は中止すること
○山ではタバコの火に注意すること
○家を留守にして仕事に出る時は必ず火の元の安全をたしかめること

区長さん・代理さん・使丁さん
任期満了ご苦労さま



冷害と災害復旧に忙殺された二年間の任期、ほんとうにご苦労さまでした。その中で達成された二六年継続の納税全村完納の実績、国民年金保険料の完納の実績はすばらしい功績でした。

そのほか交通事故防止や、村道農林道開設の協力や、募金活動、環境美化活動など数多くの功績を残されたこの方々に、心から感謝とお礼を申し上げます。

住みよい郷土をつくる
国土緑化運動

「みんなで緑みんなの国土」をテーマに、今年度も各種の緑化運動が展開されます。

戦後の日本は、戦争による森林の荒廃のため、しばしば台風や水害により大きな損害を受けるようになりました。このため昭和二五年一月に、林業関係者、政財界、言論界など各方面の人たちが参加して、国土緑化推進委員会が結成され、国民的な緑化運動を展開することになったのがこの運動の背景です。

今年度の緑化運動では、緑化募金運動（緑の羽根・バッチ）＝四月一一日～四月三〇日、緑の週間＝四月一〇日～四月一六日、地方植樹祭、みどりの学校、森林愛護運動＝六月一日～七月三一日、学校緑化、地域環境緑化の推進などが行われます。

私たちの生活にかかせない緑をいつまでも大切にしましょう。

表彰おめでとう

緑化功労者に
鈴木公義さん



多年にわたり緑化事業の推進に尽力してこられた鈴木公義さん（西山字馬場）に、緑化功労者として国土緑化福島県推進委員長から感謝状が贈られました。

鈴木さんは福島県自然保護指導員に県から委嘱され、村の自然環境保全地域である強滝地内に桜やもみじの苗を植栽し、その保護、育成に努めてきました。また隣接する国道三四九号線沿には、毎年花いっぱい運動を行うなど、環境美化と緑化思想の啓もうに尽力された功績が高く評価されたものです。

豊かなむらづくり顕彰
優秀10集団に中沢集落



五五年度に県が策定した新農業振興基本方針を推進するため、県と福島民友新聞社は五六年度から「豊かなむらづくり優秀集団」一〇集団を選び顕彰していますが、五七年度の優秀集団に中沢集落が選ばれました。

中沢集落は、転作を計画的に実施するとともに、共同作業で三〇年から三五年にかけて道路をつくり、また、木材資材、労力を出し合って三五年に公民館を建設するなど、住民の自主性と創意により〝活力あるむらづくり〟を推進しているのが県から認められたものです。

県系統農協肉牛共励会
星さんの肥育牛が一等



第一五回福島県系統農協肉牛共励会に本村農協から出品した星弘美さん（青生野）の肥育牛が一等に入賞しました。

この共励会は、系統農協の肉牛事業拡大・肥育技術の向上と福島牛の銘柄確立を目的に毎年開かれているもので、県下七一農協から和牛去勢一〇二頭、乳去勢八〇頭の出品がありました。

一等に入賞した星弘美さんは、阿武隈山系開発事業で開発された畜産基地の青生野で、肉用牛の肥育を実践している熱心な青年畜産家です。

執行態勢に入る

活力ある村づくり

村の昭和五八年度当初予算は、一般会計が一七億八、一〇〇万円、国民健康保険会計事業勘定が二億七、〇五〇万円、直診勘定が四、二六五万円、老人保健会計が一億三、二八二万円、簡易水道会計が七四六万円と決まりました。

次に一般会計歳入歳出予算の内容についてお知らせします。

歳入予算の状況

五八年度の一般会計歳入予算の内訳は別表1のとおりです。村税、分担金及び負担金、使用料及び手数料等の自主財源は二億二、〇八三万円で、予算総額に占める割合は一二・五%となりました。これを前年度当初予算と比較すると九・八%の増となっています。これは五四年度に事業が完了した阿武隈開発事業の元金償還が始まったことと幼稚園、保育所の使用料の引き上げ等によるものです。

依存財源は、地方交付税を除いていずれも伸び率がマイナスとなり、総額に占める割合は八七・五%と、前年度当初予算より〇・六%の減となりました。これは前年度完成した農業者トレーニングセンターのような大事業がなくなったためです。

歳出予算の状況

歳出予算の内訳は別表2及び図2のとおりです。編成にあたっては、国の行財政改革が行われるなかで、歳入歳出の伸び悩み縮減に対応して、事務の簡素効率化、経常経費の節減、各種補助負担金等の合理化の徹底を図りました。

予算構成では、普通建設事業、災害復旧事業等の投資的経費の拡大に努め、七億六、九〇二万円が計上されました。これは総予算額の四三・二%にあたり、大型の投資予算となりました。

主な建設事業では、新農構事業で、集落センター、農協の野菜集出荷施設、トレーニングセンターのプール建設等が予定されています。

そのほか第三期山村振興事業、過疎・辺地対策事業、臨時村道整備事業、林業総合整備事業、農道整備事業等が予定され、活力ある村づくりを一層進めます。

図1　当初予算の推移

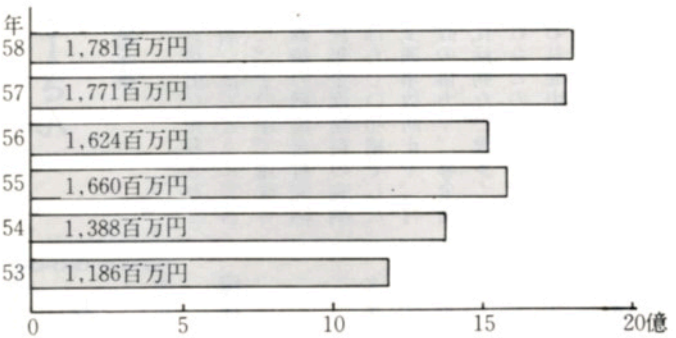


表1　歳入予算の状況

（単位＝千円　%　△はマイナス）

区分	58年度	57年度	増減額	伸び率
自主財源	220,832	201,066	19,766	9.8
村税	111,581	104,235	7,346	7.0
分担金及び交付金	33,309	26,668	6,641	24.9
使用料及び手数料	18,018	16,282	1,736	10.7
財産収入	8,645	4,611	4,034	87.5
寄付金	324	292	32	11.0
繰入金	24,254	25,000	△ 746	△ 3.0
繰越金	16,000	16,000	0	0.0
諸収入	8,701	7,978	723	9.1
依存財源	1,560,168	1,569,934	△ 9,766	△ 0.6
地方譲与税	25,300	25,600	△ 300	△ 1.2
自動車取得税交付金	14,000	14,200	△ 200	△ 1.4
地方交付税	819,665	796,582	23,083	2.9
国庫支出金	155,623	159,839	△ 4,216	△ 2.6
県支出金	327,280	353,413	△26,133	△ 7.4
村債	218,300	220,300	△ 2,000	△ 0.9
合計	1,781,000	1,771,000	10,000	0.6

昭和58年度　特別会計予算

（単位＝千円　%　△はマイナス）

会計名	予算額	伸び率
国民健康保険特別会計（事業勘定）	270,504	△ 8.8
国民健康保険特別会計（直診勘定）	42,655	2.0
老人保健特別会計	132,827	1,057.0
簡易水道事業特別会計	7,460	7.2

昭和58年度予算

行革のなかで

重点事業

◇災害復旧事業　102,863千円
▷56年災（林業用施設５か所、公共土木施設12か所）▷57年災（農地農業用施設４か所、公共土木施設27か所）

◇林業施設整備事業 154,341千円
▷大戸中松倉線（改良）▷鍬木田福原線（開設）▷酒垂宝木線（開設）▷中沢降田線（開設）▷岩野草下線（舗装）▷高岩線（開設）▷関口鹿角平線（開設）▷塩倉支線（開設）▷岩野草水口線（安全施設）▷県単治山（３地区）▷西山林研運動広場▷展示林植樹（舘山）

◇村道整備事業　144,361千円
▷菅ノ目浅川線（舗装）▷田尻関口線（改良）▷石井草遠ケ竜線（舗装）▷関下世々麦線（舗装）▷岫長塩倉線（改良）▷中沢関口線（改良）火打石浅川線（改良）▷新宿古殿線（舗装）▷寅卯平富田線（舗装）▷遠ケ竜戸草線（舗装）▷名下滝線（改良）▷村民運動場線（改良）

◇農業構造改善事業 119,627千円
▷土地基盤整備（塚本、岩野草）▷野菜集出荷施設建設▷農業者トレーニングセンター（プール）建設▷集落センター建設（東石、渡瀬）

◇ほ場整備事業　62,332千円
▷第三期山村振興農林漁業対策（大沢地区）▷転作基盤合理化促進（ほ場整備、パイプハウス建設）▷団体営（大塩地区）

◇森林雪害対策事業　16,047千円
▷森林災害復旧▷森林災害対策▷間伐促進総合対策

◇農道整備事業　30,878千円
▷遠ケ竜地区（舗装）▷大根屋敷地区（舗装）▷葉貫地区（舗装）▷高薮地区（整備）▷鹿角平地区（整備）▷大根屋敷地区（舗装）

◇国県道等県営事業　25,000千円
▷国県道等県営事業負担金

◇消防施設整備事業　8,790千円
▷防火水槽設置（２基）▷小型動力ポンプ購入（２台）▷防火水槽補修（７基）▷ホース乾燥塔補修（３基）▷ジェットホース購入（30本）

◇野菜作柄安定総合特別対策事業 7,500千円
▷パイプハウス建設（40棟）

◇スクールバス購入事業 6,000千円
▷62人乗り（１台）

図２　歳出予算性質別内訳

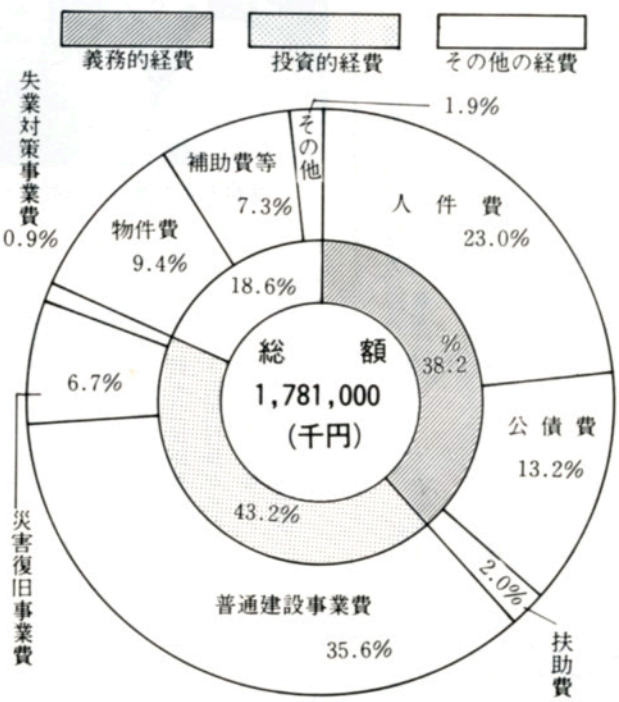


表２　歳出予算事項別内訳

（単位＝千円 % △はマイナス）

区分	58年度	57年度	増減額	伸び率
議会費	42,126	45,221	△ 3,095	△ 6.8
総務費	184,784	174,403	10,381	6.0
民生費	149,688	170,491	△20,803	△12.2
衛生費	40,845	35,132	5,713	16.3
労働費	28,037	27,653	384	1.4
農林水産業費	535,609	595,863	△60,254	△10.1
商工費	6,850	5,814	1,036	17.8
土木費	205,263	176,743	28,520	16.1
消防費	63,463	64,119	△ 656	△ 1.0
教育費	182,731	193,787	△11,056	△ 5.7
災害復旧費	102,863	64,284	38,579	60.0
公債費	235,158	213,586	21,572	10.1
予備費	3,583	3,904	△ 321	△ 8.2
合計	1,781,000	1,771,000	10,000	0.6

社会学級閉級式

石井光雄さんら83名に修了証

第一五回鮫川村社会学級の閉級式が、去る三月二八日午前一〇時から山村開発センターで挙行されました。

石井光雄さんら八三名に修了証、一八名に皆勤賞、一六名に精勤賞が授与され、鈴木公民館長の式辞につづき石田村長、芳賀村議会議長からお祝いのことばをいただきました。

閉級式のあと、遠藤棚倉警察署長から交通安全のお話を聞き大変勉強になりました。

また、映画鑑賞をして楽しく過ごしました。

公民館だより



学級生を代表して精勤賞を受ける宗田さん

婦人学級閉級式

昭和五七年度鮫川村婦人学級の閉級式が、去る三月二八日午後一時三〇分から山村開発センターで開催されました。

阿久津ナツさんら一一名に修了証、阿久津キミヨさんに皆勤賞、阿久津澄子さんに精勤賞が授与され、鈴木公民館長のあいさつにつづき石田村長からお祝いのことばをいただきました。

閉級式のあと映画鑑賞で楽しみました。



新しく結ばれたお二人の幸多い門出を祝福いたします。

―― 3月 ――

新郎 湯座 達雄（岩野草、甲子男、四男）
新婦 湯座 啓実（新宿、啓亘、長女）
媒妁人 根本 弘 美枝子 様

新郎 関根 三郎（余所内、市郎、三男）
新婦 佐藤 広子（火打石、一男、長女）
媒妁人 宗田 悦次 ハルノ 様

新郎 矢吹 幸男（官沢、繁、長男）
新婦 高木美智子（薄ケ久保、長男、三女）
媒妁人 鈴木 英亮 美枝子 様

新郎 溝井 繁（大竹、末吉、二男）
新婦 生田目順子（大石草、清治、二女）
媒妁人 柿沼 源二 コイノ 様

三角点をたずねて

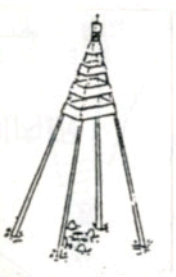
実地踏査

吉田喜雄

先づ初めに、三角点というのは、昔陸軍の参謀本部陸地測量部で測量した時、この三角点を基準として、三角点から三角点を見通し、日本の国内地図を作製した基地の印の標石である。

この三角点には、一等から四等までの四種類がある。標石の規格は別図のとおりで、柱石と盤石からなっている。石は黒ミカゲ石と、白ミカゲ石との二通りがある。石の頭の平面には、東西南北の方角を示す＋の字が刻まれている。

先づ初めに、東野小名沢地内の鮫川村と古殿町界の山頂にある三等三角点をたずねた。ここの三角点は、黒ミカゲ石に白い斑点の入った珍らしいもので地上より約二一センチ位頭を出して埋設されてある海抜は不明である。地元の生田目定義さんにいろいろお話をお聞すれば、この山を俗名「矢先山」と地元では呼んでいると言う。昔八幡太郎義家は御斎所の峠を西上し、此の地に来た時、今三角点が埋設されてある山を目がけて、弓矢を射ったと言う。ところが、この山の九合目あたりに弓矢がささり、それで弓矢の先が山にあったので、それからこの山を矢先山と地元では呼ぶようになったと語る。



次に、内ケ竜地内の三郎山の三角点をたずねた。ここも三等三角点。ここの三角点は内ケ竜と、芦ノ草地内の山頂に埋設されている。白ミカゲ石が地上より約一〇センチ位、頭を出して埋設されてある。三株山（一等三角点）より矢先山、矢先山より、ここの三郎山の三角点と、見通ししたもの。

地元の宗田貞治さんにお聞



第三回講座＝ゲートボール大会の一場画

社会学級生を募集

鮫川村公民館では、第一六回鮫川村社会学級生を募集しています。

この学級は、熟年者として豊かで楽しい日々をおくるため、よりいろいろのことがらに接して、年令にふさわしい社会的能力を高めることや、各自のもっている人生経験や伝統文化等を次の世代へ効果的に伝承することを目的として開催します。

次により入級されますようお知らせします。

◇**申込期限**　四月三〇日（土）正午まで

◇**申込先**　鮫川村公民館（☎九―二四七）

◇**募集人員**　約一〇〇名程度

◇**対象者**　六五歳以上の村内居住の高齢者

◇**学習内容**　開級式に、学級生が年間計画と学習内容を検討し運営する。

◇**申込方法**　電話等により直接申し込むか、旧社会学級方部連絡員に申し込んでください。

（氏名・生年月日・満年令・住所・電話番号）

婦人学級生を募集

鮫川村公民館では、昭和五八年度の鮫川村婦人学級生を募集しています。

この学級は、婦人の皆さんが自発的な学習意欲に基づき、豊かな人間性を養うとともに村民・主婦・母親または就労婦人としてその資質や能力の向上を図るのが目的です。

お誘い合せの上次により入級されますようお願いします。

◇**申込期限**　四月三〇日（土）正午まで

◇**申込先**　鮫川村公民館（山村開発センター内）☎九―二二四七

◇**募集人員**　村内在住の婦人概ね一〇〇名程度

◇**学習内容**　開級式に、学級生が年間計画と学習内容を検討し運営する。

◇**申込方法**　電話等による。

（氏名・生年月日・満年令・住所・電話番号）



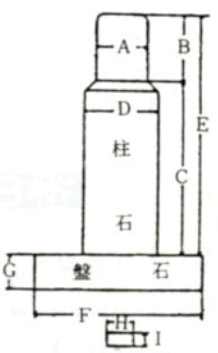
昨年の史跡・名勝地めぐり（霊峰八溝山にて）

きすれば、この山は俗称「三郎山」と呼んでいると言う。なぜと申せば、昔むかし、風野三郎さんが腰をかけて休んだと言う。三角形をした石がこの三角点より少し離れた所にある。それで昔の伝説通り今でも三郎山と呼んでいると語る。風野三郎さんがお休みになった如くに、風通しのよい山。それで夏の夕方になると、沢山の鳥が群をなして来て、この山の雑木にとまり、一夜を明かして、明日又朝早く、四方八方へと、散らけて飛んで行くと語る

次は石井ノ草の俗称「妙見山」の三角点。三角点のある山では、標高の一番高い山である。ここの三角点は、鮫川村内にある三角点のなかではただ一つの一等三角点。黒ミカゲ石が、地上より約一〇センチ位頭を出して埋設されてある。ここの三角点のわきに「一等三角点・建設省国土地理院」と書いた白い杭が立てられてある。また、この三角点の傍には、相馬のお妙見様の分霊だと言う、小さな石の宮が建て祀られてある。また大国魂神社の石塔の神様も祀られてある。

（次号につづく）

三角点標石



（単位は、センチメートル）

区分		柱石	盤石	下方盤石
種種				
一等三角点標石	A	18		
	B	21		
	C	61		
	D	21		
	E	82		
	F	41		
	G	12		
	H	9		
	I	4.5		
二等三角点標石	A	15		
	B	18		
	C	61		
	D	18		
	E	79		
	F	36		
	G	11		
四等三角点標石	A	12		
	B	15		
	C	48		
	D	15		
	E	63		
	F	30		
	G	9		

戸籍謄本等の交付手数料
四月一日から引き上げ

戸籍謄本・抄本などの交付手数料が政令の改正により、四月一日から次のように引き上げになりました。

◆戸籍謄本・抄本
一通＝三百円（現行二百円）

◆除籍謄本・抄本
一通＝五百円（現行三百円）

◆戸籍記載事項証明
一通＝二百円（現行百円）

◆除籍記載事項証明
一通＝三百円（現行二百円）

※住民票謄・抄本、印鑑証明などの交付手数料は従来どうりです。

人事異動

四月一日付で次のとおり人事異動がありました。

【役　場】

◆異動▼渡瀬保育所専門保母（西山児童館次長兼主任厚生員）青砥ハツ子▼西山児童館次長兼主任厚生員（渡瀬保育所）菊地朋子▼学校給食センター（渡瀬保育所）佐藤ミツエ▼渡瀬保育所（学校給食センター）金沢久

◆昇格▼主任主査兼福祉係長＝高杉タカ子▼主任主査兼保健係長＝鈴木米子▼主任主査＝須藤幸子

◆嘱託員▼吉田文子（総務課）▼鈴木智子（同）▼緑川リウ（住民課）▼田子澄江（同）▼本郷栄治（建設課）▼鈴木守弘（畜産センター）▼藤田一男（農業者トレーニングセンター）▼藤田智枝子（鮫川保育所）▼関根洋子（西山児童館）▼近藤シゲ（母子健康センター）▼前田シツ（同）▼菅野ギン（同）▼赤坂義郎（さぎり荘）▼下重三男（同）▼水野京子（鮫川幼稚園）

◆任命▼社会教育指導員＝鈴木重隆

【小中学校】

◆転入▼青生野小校長（西郷一中教頭）佐藤雄喜▼同教諭（白河五小）面川三雄▼同教諭（高野小）鈴木敬子▼渡瀬小教頭（笹原小教諭）近藤明▼西野小校長（白河三小教頭）近藤昌好▼同教諭（高野小）川音千代吉▼同教諭（新採用）影山裕子▼西山小教諭（福島二小）横山康洋▼同教諭（塙中）平間洋美▼同教諭（新採用）木村八重▼鮫川小教頭（棚倉小教諭）二瓶正夫▼鮫川中校長（関岡小）西牧宏樹▼同教頭（新鶴中教諭）酒井不二男▼同教諭（新採用）瓶子仁▼同教諭（新採用）馬場尚▼同教諭（棚倉中）緑川金哉▼同教諭（棚倉中）舟木友嘉

◆転出▼福島県教育センター（青生野小校長）坂本善一▼塩川小（同教諭）大竹実▼庭坂小（同教諭）宮下真由美▼石井小（渡瀬小教頭）石沢孝一▼県南教育事務所（西野小校長）橋間博▼須賀川一小（西山小教諭）高橋光雄▼社川小（鮫川小教頭）白石信雄▼塙中（鮫川中校長）永山親雄▼西山中（同教頭）堀江富美翁▼安積中（同教諭）増子清一▼塙中（同教諭）菊池慶寿▼塙小（同教諭）奥貫イツ子▼組合専従（同教諭）宗田秀郎

◆県派遣職員▼社会教育主事（笹原小教頭）根本忠義

ゴミの収集日

収集コース	種別	4月	5月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	11.14.18 21.26.28	2.9.12.16.19 23.26.30
	不燃物	22	6. 20
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	12.14.19 21.26.28	10.12.17.19 24.26.31
	不燃物	8. 22	6. 20
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	21	19
越虫～青生野～葉貫～戸草～蔵の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	20	4. 18
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	—	13
官代～橋久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	22	6. 20

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※　ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

休日の在宅当番医

月日	曜	当番医院 棚倉町	塙町	矢祭町
4月17日	(日)	薬木所田部田田原薬木	石川	木村
24日	(日)	薄大診和阿藤勝菅薄大	島田本院	
29日	(金)		中車根厚生病	
5月 1日	(日)			
3日	(火)			慈泉堂
5日	(木)			
8日	(日)		石川	木村
15日	(日)		中島	
22日	(日)			
29日	(日)			

統一地方選挙

鮫川村長
鮫川村議会議員
選挙投票日
4月24日（日）
午前7時から午後6時

一票はあなたの主張あすへの選択